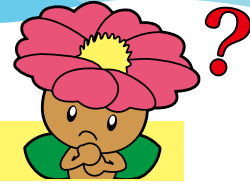


# アートのまち北

かつて**造船のまち**として栄えた北加賀屋は、  
現在**アートのまち**として再出発しています！

## 北加賀屋ってどんなまち？



北加賀屋は、木津川の河口に広がるまちで、大正時代から造船業を主軸として盛り上がりを見せてきました。しかしながら、産業構造の変化とともに、生産拠点が北加賀屋の外へ移されるといった動きが進んでいきました。

そこで、地元企業がアート関係団体等の協力のもと、北加賀屋を文化芸術が集積する創造拠点として活性化していこうとする「北加賀屋クリエイティブビレッジ(KCV)構想」を推進し、近年ではアート活動に励む人々や団体等が北加賀屋で活動しています。

また、平成19年(2007年)には、名村造船所大阪工場跡地が経済産業省によって「ストーリー2・欧米諸国に比肩する近代造船業成長の歩みを物語る近代化産業遺産群」のひとつとして近代化産業遺産に認定されました。

現在の北加賀屋は、ウォールアートを始めとした多くのアート作品が日常の風景の中に溶け込んだ“アートのまち”として新たな魅力に輝き始めています。



写真提供：株式会社名村造船所

▲昭和48年(1973年)頃の北加賀屋(名村造船所 大阪工場)の様子



▲現在の名村造船所大阪工場跡地の様子